

【石油決済通貨がドルから⇒中国ロシア主導の暗号通貨になる世界の流れを考える！】

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！

さてさて、前号にて

【2018年に激化しそうな

ビットコインキャッシュ VS ビットコインの戦いについて考える！】

という号について流しました！

私なんかはビットコインをかなり利益確定してまして

仮想通貨 LISK を買い増ししてるのですが
(LISK は600円の時買いましたがもっと上がる期待値は色々分析したらありそう)

これからはやはりアルトコインといわれるビットコイン以外の通貨が2018年は大事になりますよね～

さて、それで今年はまさに暗号通貨の年だったけど
なんと石油決済が将来的には暗号通貨になりそうです。

ドル支配の石油決済が暗号通貨に・・・という流れはあるから今日は簡単にまとめておきたいと思います。

【石油決済通貨がドルから⇒中国ロシア主導の暗号通貨になる世界の流れを考える！】

さてさて、それで今年はまさに仮想(暗号)通貨の年でした。

億万長者がどんどん誕生したすごさがありますよね。

それでビットコインなんか NY ウォール街の「金＝ゴールド殺し」

に使われたという新しい流れやそれに対抗する

中国やロシア側の仮想通貨との戦い、

この辺も興味深いですね。

(これは以前書いたけど、また今度詳しく書きたいです)

ただやはり大きくはこれからアメリカ帝国の覇権が崩れていき

中国やロシアなんかの BRICS 新興国に覇権が多極的に分散されていく

流れになるのはほぼ間違いのないのだけど

それで今までの世界の流れってやはり「ドル」が強かったわけですね。

特に「ドル」が決済通貨として使われていた。

これは私たちはよく知ってるようにアメリカが

覇権の関係でよく経済制裁をする国があるけど

明らかに「産油国」が多いわけです。石油が取れる国。

これは大きな歴史の流れとして1970年代とかの
オイルショック、石油危機なんかが日本でもあったけど
産油諸国ってのはこれ石油を武器にして
アメリカ覇権に立ち向かおうとした、という歴史がありました。

ただここでもアメリカなんかは帝国でしたから
石油の産油国なんかに
「経済制裁」をしてつぶしてきたわけです。

そんでアメリカの属国にしていくっていうのがアメリカの
今までの覇権戦略でした。

ここでアメリカが「ドル」での石油決済を取り入れて
いたわけですけど

経済制裁として
「ドル決済をもう禁止する！」なんていって
それで経済制裁できたわけですね。

まさに米ドルってのは世界の基軸通貨でして、
それがアメリカの強さでした。

そしてドル決済禁止が相手国に「効く」のは

周りのみんながドルで決済しているから、

そこで「効く」わけだけどアメリカの覇権の力がある前提としては
そのドル決済が世界中に浸透しているってのが大事なわけですね。

ここでまあ日本の政治家なんかは独自で石油決済しようとして
つぶされた人も多いですよ。

それで「ペトロドル」というのは覚えておく必要があって
この「ペトロドル」という体制はアメリカとサウジアラビアが
協調してる体制です。

世界最大級の石油の産油国であるサウジアラビアが
石油を「必ず」ドル建てで売るわけですね。

んでサウジアラビアはドルを手にする。

そしてそのドル収入で米ドルが沢山手に入るから
米国債を買うわけですね。

んでこの動きが大事で産油国が石油を売ってドルを手にして
そしてそのドルがアメリカに還流する仕組みというのが
あって

それが結局米国債を買い支えるという仕組みがあったんです。

この米国債を買い支える仕組みがあるから

アメリカの債券市場がまあなんとか持っているというのが

1つの重要な要素としてありましたよね。

一番アメリカ政府が怖いのが米国債の長期金利が

3%4%と跳ね上がることなただけ

これは重要なことで短期金利はまあ操作できる。

「利上げ」とか言ってますよね。

けど10年ものとかの長期金利の金利はこれは

なかなか操作できないってのが原則でして

コントロールが難しいってところだけ

アメリカの場合は上記ペトロドラー体制ってのがあったから

ここで米国債に産油国からお金が流れてくる構図があって

だからまあ今でも持ってるという見方もできるわけです。

んでこのアメリカとサウジの談合状態をペトロドラーとか

いいますけど

アメリカはサウジが米国債買ってくれるその代わりに

サウジを安全保障で助けてあげて、

サウジがだからアラブとイスラム世界の主導役になっていた
ということです。

それでこの米ドルを石油決済で使ってアメリカとサウジが談合する
ペトロドラー体制によってアメリカは逆らってくる産油諸国に
経済制裁して「お前らじゃあもうドル決済させねーよ！」ってことで
覇権が維持できたわけですね。

アメリカのなんというか「ジャイアン性」を象徴するのが
ペトロドラー体制。

んで実は今なんかはアメリカと日本と欧州が
先進国3地域で「ジャブジャブマネー」=金融緩和、QE
をやってるからこのペトロドラー体制がなくても

まあそのジャブジャブマネーがアメリカのリーマンショック以来
ぶっこわれてる債券市場を買い支えている状況ではあります。

だからペトロドラー体制は以前ほど重要じゃないんだけど
ただ今もこれ世界では大体の石油決済、99%以上がドル建てです。

ただ、もう今年の2017年から明確に出てきた動きがあります。

それが「各国のドルの石油決済離脱の動き」です。

今まではこれアメリカのドル決済使わないと絶対にやばくて

ほんところに逆らえば結構恐ろしいことになったものだけど

今なんかはあれです、トランプ政権になって

アメリカの身勝手さ、というのがすごい目立つようになってきましたよね？

というかトランプがあえて身勝手に「意図的に」振舞ってる

というのが正しいと私は分析してるけど

「なんだアメリカはいつも勝手なこと言いやがって！

じゃあ俺らは独自でドル決済じゃない石油決済するぞ」

みたいな流れが2017年明確に出てきつつある。

まあこれをトランプは狙っている。

トランプは

「アメリカファースト＝アメリカの国内問題を優先する主義

＝他国には介入したくありません」という主義だから。

それで最近の動きとしてはロシアとかイランとかベネズエラ

なんかのアメリカの敵国として言われる国々、

だから例えばイランに入国したらアメリカには私たち日本人は
パスポートにイランのスタンプ押されてると入国できないのだけど

こういう国々が中国なんかと組んでですね、
んで、石油決済をドル建てじゃないものにしようとしている。

んでここでアメリカは国際法違反の制裁行為をずっとやってきたけど
もしこのドルの石油決済がだめになってくると

それが無効になってくるわけですけど

大きくはこの動きが世界で出てきている。

それで・・・ここで出てくるのが「暗号通貨」です。

だから暗号通貨の需要、特に中国側とロシア側の暗号通貨需要は
当然に将来的に上がるのが分かりますが

石油決済の「非ドル化」というのが2017年に
かなり明確に出てきたわけですね。

サウジアラビアのMBSの問題もその関係。

んでここでブロックチェーン技術と暗号通貨が

とても安く導入できる石油決済機能として 使われ始めてる

わけです。

ここでビットコインのブロックサイズ1 Mじゃ足りない
って話も出てきます。

だからビットコインキャッシュの8 Mのブロックサイズも
注目される。

んで、最近ロシアとベネズエラなんかが
ブロックチェーンによる自国の通貨建て暗号通貨を
創設してます。

もういち早くロシアなんかはドルを使わない暗号通貨による
石油決済システムを導入し始めてる。

だから暗号通貨ってのは大きくはこの米ドルに対抗する

~~~~~  
装置として使われてる  
~~~~~

という側面が強く見て取れます。

その流れを把握してうまく儲けましょうというのが
日本の商人の考え方ですね。

それで重要なのがやはり中国の動きでありまして、

中国が今年か来年には人民元建ての石油先物市場を
上海ではじめます。

んでここに同意してる国としては
イランとベネズエラとロシアとサウジアラビアです。

あれ？サウジアラビア？？となりますが
アメリカの味方だったサウジアラビアはアメリカを
裏切り始めてますね。

この動きが大事です。

ちなみに日本も安倍首相がこの前日本の首相としては
15年ぶりに中国の建国記念日が中国の大使館で行われたけど
そこに出席しています。

安倍の場合は反中、反韓をあおって人気をあげたけど
実際の話はレーシストの人たちをうまく利用して
人気を獲得して、

田中角栄や小沢一郎に似た路線を踏襲するよう
なってきたってのも2017年、誰も言わないけど
明らかに見られる傾向ですね。

当然これは日本の外務省官僚との闘争になる。

だから世界中で「アメリカをこっそり裏切って
中国ロシアと商売やっていく流れ」ってのが出来てきてて
それをトランプが意図的に乱暴に振舞って
促進させてるってのが面白いところ。

それでこれから中国で人民元建ての石油先物市場が創設されていき
ここでこれから人民元建てで売買される石油の価格変動による
損失があるけど

そのヘッジのために上海先物市場が使われるわけですね。

だから長期的に数年単位で保有するならこれ実は
人民元って結構悪くないんだけど

日本だと好き嫌いの問題で中国嫌いってマスコミの情報によって
洗脳されてるものだからこの話は出てこない。

ただ大きな流れを好き嫌い抜きに分析していくと
明らかに人民元が台頭してきます。

んで、人民元建ての石油取引はまだドル決済が主流だから
0.4%にすぎません。

けどこれから BRICS の暗号通貨なんかが出てきて

ここで人民元が絡んでいくけど

そこで人民元建ての石油先物市場が組み合わさってくるわけです。

となるとこれからはドル決済99%の状態が

2020年代にかけて大きく崩れていきまして

人民元建ての石油取引が増えていくのは既定路線です。

これはトランプ自体があえてそう振舞ってるから

それに沿ってるといえれば沿っている。

トランプはだから確信犯的にペトロドラー体制を終わらせようと

してますね。

んでサウジアラビアなんかがアメリカと今まではタッグ組んできたけど

サウジ皇太子なんかがトランプに引っ掛けられて覚醒させられて

それでアメリカから離反する動きにいずれなっていくますが

となるとこれ石油決済でドルを使わないって流れが加速します。

当然ここでドルの基軸通貨としての機能が

喪失していく。

んで新設される上海石油市場の興味深い点があって
人民元だけじゃなくて金地金だけでも取引が
できるようになるんですね。

ということは今は金地金は先物で売り崩されて
ビットコインなんかは資金が向かってるから
なかなかさえない感じだけど

いずれこれ金は長期視点だと上記の政治の流れは
不可避であるため、大きく伸びるということです。

それを遅らせるためにビットコインをNY金融街が
相当宣伝して、そこにお金が流れてるっていう見方が
どうも正しいと私は思います。

んで中国なんかはいずれ上海で金価格もイギリスのシティと
合同で決めていきますからね、

そこで金価格を彼らが決めて、さらにそこで
石油決済に金を利用できるようになる、

という新しい体制が2020年代に顕著になると
思われます。

2018年、2019年はそのための準備だ。

日本のマスコミはあくまでも「ドル防衛側」だから

上の話は言わない、書かない、なんだけど。

ただ実際に起こってるのは投資家は知っておいたほうがいいかなって。

それで中国の狙いとしては人民元と金地金のゴールドを連携させる。

んでそこで金ゴールドの力を借りてそこに

人民元担保させて、人民元の国際性を押し上げようとしています

これは短期ではまだ時間かかるけどいずれ実現されるでしょう。

んで暗号通貨のうち、ビットコインで明確になってきたのは

これはアメリカの金融界 NY ウォール街に乗っ取られた

ということですね。

だから前号のビットコイン VS ビットコインキャッシュという戦いが

あって本当のビットコイン推進者たちのリバータリアンは

ビットコインキャッシュやイーサリアムなんか注目しててる。

それでビットコインが面白いことに金の代替どころか

金の敵になっていて 本来金に向かうマネーが

何十兆円もこれビットコインに流れてるっていうところを

誰も言わないけど、留意しておく必要はありますね。

ただそれとは違って暗号通貨の中でも中国やロシアが主導する

非米諸国の暗号通貨はこれ

金地金を味方にして取り込んで 金地金と共闘して

ドルと戦おうとしています。

だから暗号通貨というのがまさに通貨戦争の一環として

出てきたという大きな見方がおそらく

私たちには必要かなと思います。

んで、この金地金なんだけどアメリカにはゴールドってなくて

実際はもうほとんどが中国ロシアインドあたりに

あるんですね。

だから金地金があるところは金持ちになるって言われてるけど

これらの国がどんどん経済が活性化しているのは必然です。

んで日本のマスコミ見てると30年以上

「中国はバブルでいつか崩壊する」

とやっています。

その間に中国は GDP にて日本を追い抜いた。

実際は中国の習近平は明らかにバブルをつぶす戦略をとっていて
共産党内にはアベノミクスみたいにバブルを拡大させて
儲けたい勢力がいるけど彼らをつぶしている。

共産党内の腐敗運動の取り締まりというのもその戦いの中で
起こってますよね。

中国の場合バブルが拡大したらこれあとでアメリカの
バブルが崩壊していったあとにダメージが受けないように
早めにバブルをつぶそうという動きが顕在化しておりますね。

一方本当にひどいバブルはこれアメリカと日本と欧州の
バブルであるけどなぜかこれは日本のマスコミは言いませんよね。

もう民衆は株価がどんなにあがろうとも自分の暮らしは
良くなないとみんな気づいてるのに・・・です。

明らかに先進国のほうが実需を伴わないバブルなんだけど
まあそれは言うてはいけないことになってる。

けど崩壊したときに「あのときはバブルだった」と言える日が
来るでしょう。

んでこのバブルに関する戦略を見ると

明らかにこれからドル覇権が終わっていく時に

大ダメージを受けるのはアメリカと日本と欧州の先進国3地域であり

そこでバブルを意図的につぶしてきた中国が

早く蘇生すると思われます。

また同じく中国と絡んでるのがイスラム圏の国家で

マレーシアなんかもそうなんだけど

イスラム金融の特徴としてはバブルに強いってのが

あって金融レバレッジの過剰な取引にはかなり強い規制が

ありますから

イスラム金融を導入してる国はダメージは受けるだろうけど

米日欧ほどのダメージにはならないでしょう。

まず年齢が若い人が多いから復活も早い。

私はもうすでにこの状態に準備してマレーシアにいる

ってことでもありますね。

んでここで分かるのがいずれ不可避として起こるのが

ドルのバブル崩壊だけど

ここでアメリカの覇権喪失が起こるわけです。

もうその準備としてペトロドラー体制の終焉が出てきてまして、
ここに中国ロシア側の暗号通貨ってのが決済として
使われだす。

だからここで最終的に生き残るのは中国ロシアのほうでして
ビットコインなんかはアメリカのウォール街に乗っ取られてますから
となるとビットコインとドルなんかは時期のずれはあっても
バブル崩壊っていうのは大体の時期を同じくしていこう
というのが分かってきますね。

んでここで中国ロシア側の暗号通貨として
アルトコインのいくつかの通貨たちがあるけど
どうも2017年に分かってきたのは

数年単位ではアメリカ系の暗号通貨はまだ生き残りそうだけど
もっと長いスパンで2020年代というスパンで見っていくと
ロシアと中国系の暗号通貨がこれ結局生き残る形になる
ということが見えてきます。

だから私なんかはビットコインから他のアルトコインに
分散させてるけど

これはやはりビットコインに関しては「ガチホ根拠」
がファンダメンタル的に得られなくなってしまった
というところですよ。

昔ビットを長く持っていた人たちってのは
ビットコインの非中央集権思想に惹かれたわけで
それがガチホ根拠になったけど

今の段階だとそのガチホ根拠である非中央集権思想が
NYウォール街に乗っ取られてしまったわけでした

個人的にはガチホするならアルトコインの中の
中国ロシア系の暗号通貨だろうなという感じがしまして

仮想通貨塾でもやっぱりここまで言わないけど
ビットコインキャッシュだったりイーサリアムやったり
ネムをガチホしろ

という指示してる億万長者は多いです。

ネムなんかは最近ではWECHATとの連携が知らされて
爆上げしてるんだけど

上記の根拠とか世界情勢知ってるからガチホできる根拠が

あるとも言えますね。

んで SBI なんかが

口座数約 165 万の中国三大仮想通貨取引所 Huobi が提携

というニュースも今月あったけど

やっぱり中国と絡んでいくところが暗号通貨にしても株にしても

強くなっていくという大きな流れがあります。

株なんかで言うつつぶれそうな日本の大企業が

中国系の企業に買われて株価が一気に上がっていく

っていうのは今年すごい見られた現象だけでも

結局その辺が重要だなのは感じますね。

と言うことで大きくは

アメリカの単独覇権から多極型の BRICS 中心の覇権構造に

転換していくけど

その2極の戦いの軸として暗号通貨も存在している

ってことですね。

んで日本だとブロックサイズが1 Mのビットコインにやたら

人々が集まり、

一方ビットコインキャッシュやイーサリアムは

ビットコインほど注目されていない

ってのはこれ大きくは報道なんかもコントロールされてるっぽいな
と感じます。

ちなみに私のいるマレーシアは??

というと実はイーサリアムの宣伝を結構見ます。

マレーシア人にはネット検索してる間に頻繁に
イーサリアム関係の広告出てきます。

ビットコインよりイーサリアムが多いな〜と。

ちなみに仮想通貨の投資として利子につかない

=インカムゲインにつかないってのが欠点としてあるけど

イーサリアム保持者には利子をつけていこう

という動きも出ていますね。

要するにファンドを創設してイーサリアム保持者の

イーサを集めて、そんで、仮想通貨を利しありで

貸し出して、

そこで利息得て、預金者っていうか預 仮想通貨 人
に利子を分配していくっていうプロジェクトとか
あります。

これ明らかに既存の NY ウォール街の銀行家の利益に
反するものだけど

そういうのがイーサリアムベースで出てきてます。

大きくはここでイーサリアムなんかもそうだけど
米ドル機軸性をつぶしていくという方向が見て取れる。

こう見ると仮想通貨っていうけどその背景には
大きな

アメリカ金融帝国覇権

VS

BRICS の新興国の新しい多極的覇権

の勢力争いがあるのがよく分かりますから
面白いですね。

いずれにしても石油決済もそうだけど
非米ドル化が今後10年スパンでどんどん進んでいきますから
大きく時代は変化していく。

その中で中国ロシアなど BRICS 系の暗号通貨は

大きく伸びてくると思われますので

それが実は私が3万円台でビットコインキャッシュ買っていた

大きな根拠だったんだけど
(今は20万円くらいになった)

まあこの辺が見えるようになると暗号通貨投資も

比較的利益出しやすいかなと思いました。

では！

ゆう